



# 置かれた場所で咲く

校長 板見 剛

副校長 森 敏樹（作成）

長与の子の心を見つめる教育週間（6月23日～7月1日）

## 長与町中学生弁論大会

26日（木）、長与町内の3年生が長与町文化ホールに集い、各校代表による弁論が行われました。本校の代表生徒5名が発表した原稿の内容（要約）を、発表順に紹介します。



### □「感謝の気持ちを伝える」 森山さん

「ありがとう」は言う人も言われる人も幸せにする魔法の言葉だ。友人に感謝を伝えられた時の喜びや、喧嘩の際に「ごめんね」と謝ったことで心が晴れた経験から、自分の気持ちを素直に言葉にすることの大切さを実感した。「ありがとう」が「有るのが難しい」と書くことを知り、周りの助けを「当たり前」と捉えがちだった自分に気づいた。これからは、感謝の気持ちを忘れずに「ありがとう」を自然に伝えられる人になり、多くの人に感謝を届けたい。

### □「言葉のパワー」 藤原さん

言葉は、相手に様々な影響を与える一番大きなパワーだと思う。相手を嬉しくさせる反面、相手を傷つけてしまうこともある。「ってきます」「おかえり」といった短い言葉に込められた家族の温かさを実感した経験から、日常の挨拶の大切さを再認識した。一方で、「うざい」「キモい」のような人を傷つける言葉の存在にも触れ、相手の気持ちを想像することで、言葉選びへの意識が変わった。私たちは、自分の言葉に責任を持ち、周りも自分も幸せにできる言葉遣いを心がけるべきだ。

### □「自分を知る」 八木さん

他者を理解するよりも自分自身を知ることが難しい。その理由として、他者の言動から人柄を把握できる一方、私たちは「嫌われたくない」といった感情から本音を抑え込みがちだ。自身の経験から、無理に自分を「強い」と思い込むのではなく、弱い部分も含めて受け入れることの必要性を痛感。哲学者ソクラテスの「汝自身を知れ」という言葉にも触れ、自分を知ることが、自分らしく生きるための土台だと考える。常に自分と向き合い、強さも弱さも認めることが、将来の自分を支える力になる。

### □「みんな同じになりたがる」 皆良田さん

無意識に周囲に合わせる「同調行動」。日本人は多くあると捉えている。授業での発言やSNSの「いいね」の例から分かるように、周りとの違いを恐れて意見を言えない経験は少なくない。授業の発言やSNSで「いいね」をためらった自身の経験がある。しかし、多様な意見こそが会話を深め、関係性を豊かにする。同調の圧力に屈せず、自分の意見や感情を大切に、「自分らしさ」を認め表現することが、自分自身だけでなく、誰かの助けや希望となる。

### □「気持ちを形に」 中野さん

自分は相手とコミュニケーションをとることなどへの苦手さがある。特に目上の人との会話や集団への指示出して、言葉が出なかったり、内容が曖昧になったりして、相手に伝わらないもどかしさを経験。その原因は、相手の反応を気にしすぎ、ネガティブな想像をしてしまうことにあると気づいた。しかし、自身の経験を通し、「言うと決めたなら伝えられるし、相手も受け止めてくれる」と考えるようになった。身近な人々へ、日頃のささいな気持ちからでも言葉にして伝えることの重要性を呼びかけたい。

## 【道徳公開授業・学級懇談会（テーマ：『生命尊重』）】

6月30日（月）5 時間目に、道徳の公開授業が行われました。テーマは、「生命尊重」です。今年度も、全学年で200名を超える保護者の方々にお越しいただきました。ご参観いただきありがとうございました。前号でお知らせしたとおり、学級懇談会では、「命の大切さ」について、保護者・教員がいっしょになって意見を述べ合いました。

ある3年生のクラス懇談会においては、『臓器提供』を題材にした授業でのわが子の意見を聞き、一人の人間としてしっかりとした考えをもって驚きを感じたというご意見をいただきました。

「命は大切と思うのはなぜ?」。対話を通して、意見を交わすことで、さらに、自分自身の中で、深く刻まれていくものと思います。ご家庭でも、ぜひ「命の大切さ」について、対話を深めていただくようお願いいたします。



## 【生徒の皆さんへ】 「命はなぜ大切なのか」、自分自身に問い続けよう。

今年度の教育週間が終わりました。この教育週間が、長崎県内で20年以上前に始まった経緯については、教育週間初日に行われた校長先生の講話で初めて知った人もいたことでしょう。当時の長崎県の大人たちの、「二度と悲しい事件をおこしてはならない」という切なる思いが込められ始まったこの大切な取組は、今も続いています。そして、これからも続きます。

先日行われた道徳の公開授業では、生徒・保護者、地域の方、先生たちが、「命の大切さ」について考えました。とても貴重な機会だと思います。これからも大切にしていきたい学びの授業です。

今の時点で、「命はなぜ大切か」自分なりの答えはありますか？友だちや家族の答えを聞いてみるのもいいかもしれません。これからも、様々な事件・事故、海の向こうで起きている国や民族同士の対立など、「命」をめぐる出来事が、映像や記事で見聞きすることがあるでしょう。そのたびに、「命」のことについて、少しずつでも思いをめぐらせてみてください。命を見つめる教育週間が終わったこれから、機会を見つけては、「命をなぜ大切なのか」。自分自身に問い続けてほしいと思います。

## R7年度 長崎県「ココロねっこ運動強調月間」 期間 7月1日（火）～31日（木）

「ココロねっこ運動」は、家庭・地域社会・学校・行政が一体となった青少年の健全育成と環境浄化を目的としています。子どもの心の根っこを育てるために、大人の在り方を見直し、みんなで子どもの心を育てる県民運動です。



## ～7・8月行事予定の訂正です～

誤：7月27日（日）吹奏楽コンクール県南大会（ブリックホール）

正：7月26日（土）吹奏楽コンクール県南大会（諫早文化会館）

誤：8月3日（日）吹奏楽コンクール県大会（アルカス）

正：8月3日（日）吹奏楽コンクール県大会（ベネックス長崎ブリックホール）

誤：8月3日（日）平和コンサート in 長与

正：8月9日（土）平和コンサート in 長与